

令和3年度推薦入学の選抜基準

県立那覇高等学校

1. 推薦の資格

(1) 出願資格

次のア及びイのすべてに該当する者で、中学校長が推薦する者。

ア. 沖縄県内の中学校を令和3年3月に卒業見込みの者。

イ. 本校普通科に対する目的意識が明確であり、かつ、本校への興味、関心及び適性を有する者。

(2) 出願の要件

志願者は、次のアまたはイの一つに該当する要件を満たしている者とする。

ア. 次の(ア)から(オ)までの一つに該当する諸活動の実績等について自分を表現すること（以下「**自己表現**」という）ができること。なお、当該活動の実績については、証明する資料（賞状や認定証、新聞等）の写し（A4版：3事項まで）を提出すること。

(ア)文化活動	(イ)スポーツ活動	(ウ)社会活動	(エ)ボランティア活動	(オ)資格取得等の活動
---------	-----------	---------	-------------	-------------

イ. 次の(ア)から(エ)までの一つに該当する分野について表現すること（以下「**個性表現**」という）ができること。

(ア)音楽、美術及び書道等の芸術分野	(イ)文芸及び研究等分野
(ウ)舞踊、創作ダンス及び手話等の身体的活動を伴う分野	(エ)留学などの体験的活動を伴う分野

2. 本校選考基準

(1) 本校への入学の目的意識が明確な者。

(2) 出願の要件にあるアまたはイの各分野における顕著な実績のある者。

*選抜のめやすを参考にしてください。

ア. 自己表現の部

(ア) 文化活動……全県の催しもので、3位以上の成績を収めた者。

(イ) スポーツ活動……全県の大会で、県大会出場以上の成績を収めた者。

(ウ) 社会活動……定期的・継続的に活動を行い、校外の他団体から活動が顕著であると
して、表彰または推薦された者。

(エ) ボランティア活動……(ウ)に同じ。

(オ) 資格取得等の活動……公的機関が発行する資格（例：英検準2級）。

イ. 個性表現の部（面接時における実技等を行う）

(ア) 音楽、美術及び書道等の芸術分野

(イ) 文芸及び研究等分野

(ウ) 舞踊、創作ダンス及び手話等の身体的活動を伴う分野

(エ) 留学などの体験的活動を伴う分野

**※受験生自身で確認すること：上記アの場合本人が登録された大会のみ(登録用紙の写しを付けて)書いて
下さい**

(3) 特別活動において、リーダーとなり活動した者。

(4) 無届けの欠席・欠課がなく、勤勉の実績が顕著な者。

(5) 身だしなみ・礼節・言葉づかい等態度が良好な者。

(6) 原則として、1年～3年の評定平均値が優秀な者。

《選抜のめやす》

ランク

ア. 自己 表現	(ア)文化活動	A B C	①最優秀賞又はこれに相当する賞・県外派遣を伴う賞 ②優秀賞又はこれに相当する賞 ③優良賞又はこれに相当する賞
	(イ)スポーツ活動	A B C D	①1位又は県代表 ②ベスト4以上 ③ベスト8以上 ④出場
	(ウ)社会活動	A B C	①表彰規模が全国レベルのもの ②表彰規模が県レベルのもの ③表彰規模が地区レベルのもの
	(エ)資格取得	A B	①英検・数検・漢検2級以上に相当するもの ②英検・数検・漢検準2級に相当するもの
イ. 個性 表現	音楽及び書道等の芸術分野	B C	①特に優れているもの ②優れているもの *内容によって、ランクは考慮する。
	文芸及び研究等の分野		
	舞踊、創作ダンス手話等の 身体的活動を伴う分野		
	留学等の体験的を伴う分野		

*主催団体及び大会規模なども考慮する。

3. 推薦募集定員

普通科	20%以内	特別枠5%以内	合計100名以内
-----	-------	---------	----------

ただし、通学区外は10%(10名)以内。

4. 判定方法

①調査書(評定、特別活動、出席状況等)、②推薦申請書等の出願書類、③面接・実技等を基に総合的に判断する。

5. その他

①「自己表現」の志願者は原則として面接のみ実施する。ただし、3年時の全県の大会が実施されず(実施されたが、学校の諸事情により出場できなかった場合も含む)、県大会出場以上の活動実績等がない場合、受検生から希望があれば実技を課す。

②推薦入試合格者に対して、学力検査を実施しない。

令和3年度一般入学の合否判定基準及び判定方法

県立那覇高等学校

1. 一般入試募集人員

募集定員（400名）から推薦入学内定者を差し引いた人員。

- ・ 募集定員-推薦入学内定者（最大100名）=300名
- ・ 通学区域外許容人員=400名の10%
- ・ 通学区域外からの一般入試合格者許容人員
=40名-（推薦入学内定者に占める通学区域外人員〔最大10名〕）

2. 選抜方法・・・募集要項の抜粋

- (1) 選抜は、出身中学校長から提出された調査書、その他必要な書類、学力検査等の成績及び面接の結果を基に行う。
- (2) 学力検査を実施する各教科の配点は60点とし、本校独自の計画に基づく学力検査は実施しない。
- (3) 調査書と学力検査等の成績の比重は、4.5 : 5.5とする。

3. 圏の設定及び合否の判定

沖縄県教育委員会の定める令和2年度沖縄県立高等学校入学者選抜実施要領に基づき、特記事項を含めた圏を設定し、合否を審議する。ただし、学区外の志願者については、募集定員の10%を超えないように合格者を決める。

- (1) A圏は、一般入試募集人員の80%程度とする。
- (2) B圏は、一般入試募集人員の110%程度とし、それからA圏を除いたものをB圏とする。
- (3) C圏は、一般入試全志願者からA圏、B圏を除いた残りをC圏とする。

特記事項

- (a) 出席状況……………一つの学年において、無届けの欠席・欠課・遅刻のいずれかが10回以上ある者。
- (b) 科目別内申点……………3ヶ年で「評定2」以下のある者。
- (c) 教科別テスト点……………20点以下がある者。

入学志願に関する諸書類記入と提出の際のお願い

1. 願書受付日時の割り当てと校区外受検生について

- (1) 今回も**受検生の多い学校**は受付日時の割り当てをしたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。(毎年、受付時に時間がかかり、中学校側に申し訳なく思いますが、ミスの無いよう心掛けていますのでご理解のほどよろしくお願いいたします)
- (2) **学区外受検生**はその旨、受付へ申しつけて下さい(学区内・学区外は基本的に**保護者の現住所**で判断しています)。

2. 諸書類の記入等について

- (1) 各書類(入学志願書・調査書・推薦申請書・志願者名簿等)の志願者名・保護者名は住民票に基づいた文字を使用すること。住民票では旧漢字なのに本人は新漢字を使用している例や、旧漢字でもない沖縄独特の文字があるので注意して下さい。また、**現住所も住民票に基づいて下さい**。
- (2) 印鑑漏れについて
校長印・担任印・保護者印漏れがないよう確認をお願いします。
- (3) 推薦入試の「実績等証明資料の写し」の提出は**3項目以内(A4サイズ)**です。事前に本人と相談のうえ規定の項目数に絞って提出をして下さい。
- (4) 「自己表現」で**実技を希望する場合は、推薦第2号様式(甲)の一番最後の行に、「実技を希望します」と記入すること。(記入が無い場合は面接のみ実施する)**
「個性表現」の実技を希望する場合は、推薦第2号様式(乙)の見出し「個性表現」の後ろにかっこをつけ、実技を行う項目を記入して下さい。
- (5) 成績や出席状況の記入ミスが無いようにお願いします。

3. 大会等の調査書の記載に関してのお願い

- (1) 大会・コンクール等の名称は正式名称でお願いします。
例：九州大会出場→正式名称「第31回九州中学校軟式野球競技大会」
吹奏楽部大会金賞→「第52回全日本吹奏楽コンクール金賞」
- (2) 誤記、記載漏れの無いようにお願いします。
例：第〇回沖縄県中学校△△△競技大会(以下記載無し)
*実績がないときで参加のみの場合は、「△△△競技大会参加」とご記入下さい。
- (3) **推薦入試の受検生は、大会等で「記入時に確認して欲しいこと」本人が登録された大会のみ(登録用紙の写しを付けて)書いて下さい**
 - ① 全国大会・九州大会・県大会・地区大会の別・正式名称
 - ② 競技種目(吹奏楽コンクール・野球大会・陸上競技大会など)
 - ③ 順位・結果(大会参加・ベスト8・第3位・準優勝・優勝・金賞・最優秀賞など)
 - ④ 団体または個人の記入
 - ⑤ **同一部活動の3カ年継続かつキャプテン、または、同一部活動の3カ年継続の記入**以上の点、ご注意ください。